

(第1-1号様式)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 26日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県大和郡山市池沢町337

氏 名 ハウス食品株式会社 奈良工場
工場長 眞鍋 清

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0743-56-0661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項（奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5）の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ハウス食品株式会社 奈良工場
事業場の所在地	奈良県大和郡山市池沢町337
計画期間	令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	年間生産金額 343億円
③ 従業員数	495名

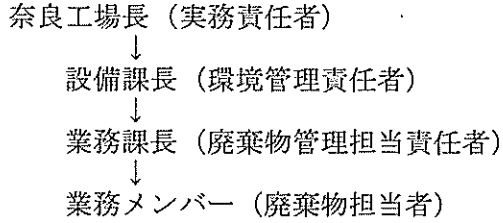
<p>④ 産業廃棄物の一連の処理の工程</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥→中間処理→再生処理業者に委託→他の汚泥や重油と混合→燃料で販売 ・動植物性残渣→再生処理業者に委託→混合・熟成→肥料として販売 ・廃プラ・紙屑類→再生処理業者に委託→固形燃料として再資源化 ・木くず→再生処理業者に委託→破碎→原料用チップとして販売 ・廃油→再生処理業者に委託→他の廃油と混合→燃料として販売 ・活性炭→再生処理業者に委託→焼却→路盤材に再生 ・蛍光灯→再生処理業者に委託→破碎→分別→原料用として販売
-------------------------	---

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	排出量	1,335 t	501 t
	(これまでに実施した取組)		
「別紙のとおり」	・ 廃棄物の分別の徹底		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	排出量	1,211 t	455 t
②計画	(今後実施する予定の取組)		
	・ 原料ロスの削減		
「別紙のとおり」			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 製造ラインで発生した製品ロス品は包材、動植物性残渣に分別を徹底しています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物分別一覧表の見直しによる分別の細分化を図っていきます

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,160 t	— t
②計画	(これまでに実施した取組)		
	・汚泥を脱水装置で減量化しています。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,053 t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

・今後も汚泥の脱水を継続していきます。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	全処理委託量	174 t	501 t
	優良認定処理業者への処理委託量	91 t	313 t
	再生利用業者への処理委託量	174 t	501 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
「別紙のとおり」	(これまでに実施した取組)		

		再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る 製造工程で発生するロス削減に取り組んでいます。
--	--	--

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	全処理委託量	158 t	455 t
	優良認定処理業者への処理委託量	83 t	284 t
	再生利用業者への処理委託量	158 t	455 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
「別紙のとおり」	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者を選定します。 処理委託先は年1回の現地確認の視察を実施します 分別の徹底と廃棄物の削減に取り組めます</p>		
※事務処理欄			

「別紙」

産業廃棄物の排出の制御に関する事項

現状【前年度 令和5年度の実績】

廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者への 処理委託量	再生量業者へ 処理委託量
廃プラスチック類	201	154	201
動植物性廃油	17	0	17
廃油	1	0	1
金属屑	4	4	4
木くず	1	1	1
活性炭	1	1	1
蛍光灯	1	1	1

産業廃棄物の排出の制御に関する事項

目標【令和5年度の目標値】

廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者への 処理委託量	再生量業者へ 処理委託量
廃プラスチック類	183	140	183
動植物性廃油	15	0	15
廃油	1	0	1
金属くず	3	3	3
木くず	1	1	1
活性炭	1	1	1
蛍光灯	1	1	1